

日本弁理士会 中央知的財産研究所

第10回公開フォーラム

開設17年目を迎える日本弁理士会 中央知的財産研究所の研究活動の一端を紹介する公開フォーラムです。内容の濃いプログラムですので、是非ご参加ください。（参加費無料）

なお、この公開フォーラムは、日本弁理士会継続研修の単位認定科目として単位認定されます。

※15分以上の遅刻、早退、中座をされると単位は認定されません。公共交通機関の遅延等、自己の行為に起因しない理由であっても15分以上遅刻をした場合には単位が認められません。

※単位取得の場合、弁理士以外の申込みはできず、代理受講も認められません。

※取得単位は、《前半》の【講演】1単位、《後半》の【パネルディスカッション】2.5単位を予定しております。

日時/場所

【東京会場】：平成24年10月 1日（月） 13:00～17:00
於 全社協・灘尾ホール（千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルB階）

【大阪会場】：平成24年11月 9日（金） 13:00～17:00
於 TKP大阪梅田ビジネスセンター ホール2A
（大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル）

プログラム

《前半》講演「商標の基本問題－混同を巡る諸問題－」

※東京会場 日本大学法学部知的財産専門職大学院教授・一橋大学名誉教授 土肥一史 氏
※大阪会場 立命館大学法学部教授 宮脇正晴 氏

商標制度の最も重要な目的は、商品・役務の出所の混同を生じさせるおそれのある行為を防止して、商標が識別機能を正しく発揮することを確保するという点であるとされており、このような考え方は、法解釈に大きな影響を及ぼしています。しかしながら、混同概念を巡る課題は、いまだ多く残されています。例えば、解釈論において混同が問題となる代表的な場面は、商標の類否判断のときであるが、そこで問題となる「混同」がどのようなレベルのもので、「混同のおそれ」の有無の判断に際してどのような要素を考慮すべきであるのかという点については、いまだに定見が存在せず、この点の明確さが実務に混乱をもたらしているといっても過言ではありません。また、より根源的な問題として、そもそも登録商標の保護範囲が「混同のおそれ」の生ずる範囲に限定されるべきなのか否かという問題も未解決であります。そこで、本研究部会では、上に述べたことも含む、混同を巡る理論的・実務的課題について、様々な角度から研究してきました。本講演ではその成果の一端を紹介します。

《後半》パネルディスカッション「明細書を巡る諸問題について」

コーディネータ ※東京会場 東京大学法学部・大学院法学政治学研究科 教授 大淵哲也 氏
※大阪会場 早稲田大学法学部・大学院法務研究科 教授 高林 龍 氏
パネリスト 北海道大学大学院法学研究科 准教授 吉田広志 氏
森・濱田松本法律事務所 弁護士 飯塚卓也 氏
東京ACTi国際特許事務所 弁理士 南条雅裕 氏

特許請求の範囲において物がその構造や特性ではなく製造方法で特定されている発明、いわゆるプロダクト・バイ・プロセス・クレームの場合の技術的範囲の確定や発明の要旨認定を巡って、知財高裁は大合議で審理して、これを真正型と不真正型に二分した上での判断を示しました（知財高判平24・1・27判例時報2144号51頁「ブラバスタチンナトリウム事件」）。しかし、その二分の判断基準や、物を生産する方法の発明と変わらない不真正型プロダクト・バイ・プロセス・クレームの成立はそもそも認められるものなのか、あるいは真正型とはいえ物の同一性の判断はどのように行われるべきなのかといった、さらに検討すべき問題も残されているように思われます。本日は、私達の「明細書を巡る諸問題」研究部会での検討テーマの中から特に注目すべき論点として当該問題を取り上げ、3名の研究員がそれぞれの立場から研究発表をした後に、毎回の研究部会さながらに、研究員どうしでの熱き議論を再現してみたいと考えています。

*講演者は、お断りなく変更する場合があります。

定員

《東京会場》：一般70名、会員280名
《大阪会場》：一般50名、会員130名

申込み方法

WEB：以下のURLへアクセス ※会員については前半、後半とも両方受講の場合は、別々に申込が必要です!

《東京会場》①【会員-前半】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=5461&type=1>
②【会員-後半】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=5462&type=1>
③【一般-前半・後半共通】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=5463&type=1>
《大阪会場》①【会員-前半】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=5464&type=1>
②【会員-後半】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=5465&type=1>
③【一般-前半・後半共通】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=5466&type=1>

申込み開始

8月7日（火）午前10時より

申込み締切

《東京》：8月31日（金）、《大阪》：10月19日（金） ※先着順、定員になり次第締め切ります。

入場券

申込完了後、入場券（メール）が自動送信されます。当日は、プリントの上、受付にご提出ください。

主催

日本弁理士会 中央知的財産研究所

照会先

業務国際課 吉川、市倉
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビル14階
TEL 03-3519-2717 FAX 03-3581-1205 E-MAIL criip@jpa.or.jp

